

反対

平野広行議員

不採択

### 請願第1号に対し

賛成

横井克典、佐藤仁志、那須英二議員

自治体財政の赤字、黒字を判断するのは一般的には実質収支であり、本市は一度も赤字になっていない。市税の60%は固定資産税で安定した財源確保ができる。議会の議決を必要とする工事協定に向け、問題点の解決に取り組み、より良い事業にすべき。

討論

市長の説明不足で、市民の意見を聞かないことが原因。決算は6年連続して実質単年度収支が赤字。市の財政は、不安定で綱渡りの状況。とにかくお金がどれだけかかるかが、どんな手段を用いても進むという態度を改め、一度、立ち止まるべき。

反対

高橋八重典、堀岡敏喜議員

不採択

### 請願第2号に対し

賛成

佐藤仁志、那須英二議員

事業の関係予算は全て、議会にて審議し議決してきた。財政的な不安は何度も確認し、中長期的に問題ないことが確認されている。財政上問題がない以上、バリアフリー法に従い事業を進めるべき。

討論

バリアフリーは、事業者の努力義務。現計画は、維持管理も本市負担で、大規模改修時に再び数十億円が必要。コストを最小限に抑え、バリアフリーや南北の分断を解消する方法を模索すべき。後戻りできなくなる覚書をそのまま進めるべきではない。

「議員は、高い倫理観が求められることを自覚し、」と規定している。しかし、佐藤高清議員の行った請願者の個人情報目的外使用は、請願権を著しく侵害し、政治倫理に反する。すべての市民に不安を抱かせ、弥富市議会の信頼を大きく失墜させる重大な行為である。よって自らの意思により直ちにその職を辞することを勧告する。

提出された決議案の要旨は次の通りです。弥富市議会基本条例第18条の政治倫理について、「議員は、高い倫理観が求められることを自覚し、」と規定している。

発議第2号  
佐藤高清議員に対する  
辞職勧告決議について

本会議及び委員会への欠席事由の追加、請願書における請願者の署名に捺印を省くなどの規定の改正しました。

発議第1号  
弥富市議会会議規則の  
一部改正について

### 否決 発議第2号に対し

反対

鈴木みどり、加藤克之議員

横井克典、加藤明由、那須英二議員

賛成

103人の請願者に対し、本会議で謝罪している。また、辞職勧告文に「請願権を著しく侵害し、請願するものを委縮させた」とあるが、実際に当該議員が請願者に対し、その行為を行った訳ではない事から、辞職勧告には当たらない。

討論

請願人が、抗議文を手渡した際、謝罪もなく、本会議でも何に対しての謝罪かが不明。この2年で「世間を騒がせた」と2件の辞職勧告の提案者となっている。重要なのは市民の請願権を脅かしている点で、甘い対応では逆に市民に不安を与える。監査委員の職も含め、辞すべき。

本決議全文は裏表紙に記載します。

発議第3号  
弥富市議会における  
請願に関する決議について